

三国グランドビジョン

東尋坊を核とした三国エリア誘客向上構想

福井県坂井市

1. はじめに

(1) 目的	4
(2) 構想の位置づけ	5
(3) 構想の対象区域	6

2. 三国エリアを取り巻く状況

(1) エリアの状況	8
(2) エリアの課題	21

3. まちづくりの目標像

4. 誘客向上のアクションプラン

5. アクションプランに係る具体的検討

(1) エリア内外の回遊性の向上	32
(2) 三国港市場周辺の再整備	36
(3) 宿泊拠点整備	46
(4) 三国祭の振興	56
(5) ナイトタイムエコノミーの推進	58

1. はじめに

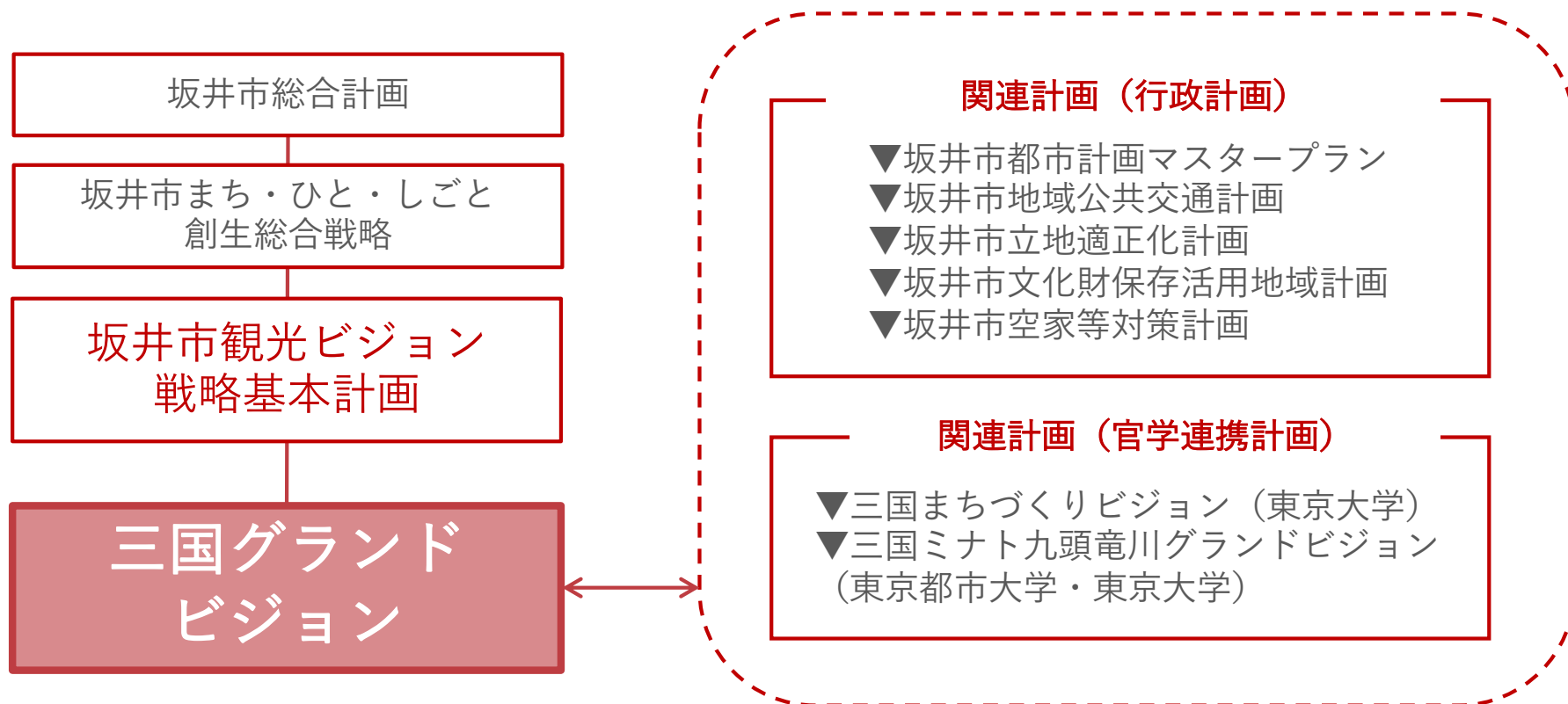
目的

- 三国の活力と魅力を持続的に発展させるためには、歴史文化の街・食の街・商いの街としての資源を活用し、それらを現代・未来の時代に合うように、時に保存し、時に翻訳しながら、地域の未来を描いていく必要があると考えます。
- そこで、この三国グランドビジョンでは、対象エリアの各種データの定量的把握をはじめ、自然環境や歴史資源、空き家の状況など総合的な分析により、三国の強みと弱点を客観的に把握することから着手しています。その上で、滞在・消費・産業という切り口を設定し、各項目を量的、質的、構造的に改善することで、三国エリアが持続的に発展するシステムを構築することを目指しています。各項目は、1.5倍という定量的かつ挑戦的な目標を設定しつつ、その野心的な目標を実現するための具体的な手法についても提案しています。
- 人口構成、産業構造、自然環境、いずれの点においても、三国エリアは、日本の国土の姿の1歩先の状況を示しています。三国における未来への計画とその実現が、日本全国の同様の街々にとって、将来の希望を指し示すような指針となることを願っています。



構想の位置づけ

- 本市では「坂井市観光ビジョン戦略基本計画」を策定し、北陸新幹線延伸開業や大阪・関西万博開催などを見据え、交流人口・観光人口の増加と地域経済の好循環拡大のために必要な戦略的かつ効果的な施策を掲げています。
- 本構想では、「坂井市観光ビジョン戦略基本計画」の内容を受け、旧三国町を核とした観光施策の具体的な考え方と方法論を整理しました。



構想の対象区域

- 本構想の対象区域は観光資源や宿泊拠点等の立地から「旧三国町北西部・竹田川より北側」（＝三国エリア）と設定します。
- また、重点的に施策を展開すべきエリアとして「三国湊町～東尋坊・雄島」をコアエリアに設定します。



対象区域図